社会資本総合整備計画

平成 ２６ 年　３ 月 ２０ 日

計画の名称	快適な生活と安全な暮らしを支える下水道の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	三　木　市

計画の目標

健全な都市環境の整備並びに公共用水域の保全のため汚水管渠整備を推進するとともに、集中豪雨の多発による浸水被害に対処すべく浸水対策を実施し、また、経年管渠の改築や更新を実施することにより、安心安全な市民生活の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

① 流域関連汚水事業計画区域の整備達成率　（整備率を 96％から 99％以上に増加）
② 単独公共汚水事業計画区域の整備達成率　（整備率を 97％から 100％に増加）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	（H22当初）	（H24末）	（H26末）	
① 流域関連汚水計画区域の整備達成率 供用開始人口（人）／事業計画区域人口（人）　（H23末　67,573人）	96%	-	99%	
② 単独公共汚水計画区域の整備達成率 供用開始人口（人）／事業計画区域人口（人）　（H23末　4,083人）	97%	100%	100%	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	943 百万円	A	751 百万円	B	0 百万円	C	192 百万円	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	20.4%

交付対象事業

Ａ１　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
A1-1	下水道	一般	三木市	直接	-	汚水	新設	流域関連公共下水道区域内　汚水管の整備	φ=200mm他 L=1,930m	三木市	━	━	━	━		73	
A1-2	下水道	一般	三木市	直接	-	汚水	新設	流域関連特定環境保全公共下水道区域内　汚水管の整備	φ=200mm他 L=11,940m	三木市	━	━	━	━		580	
A1-3	下水道	一般	三木市	直接	-	汚水	新設	単独公共吉川処理区内　汚水管の整備	φ=150mm他 L=1,410m	三木市		━	━			94	
A1-7	下水道	一般	三木市	直接	-	汚水	計画	効率的な事業実施のための基本的な施設の見直し計画策定	効率的な事業計画策定	三木市			━	━		4	
小計（下水道事業）																751	
合計																751	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

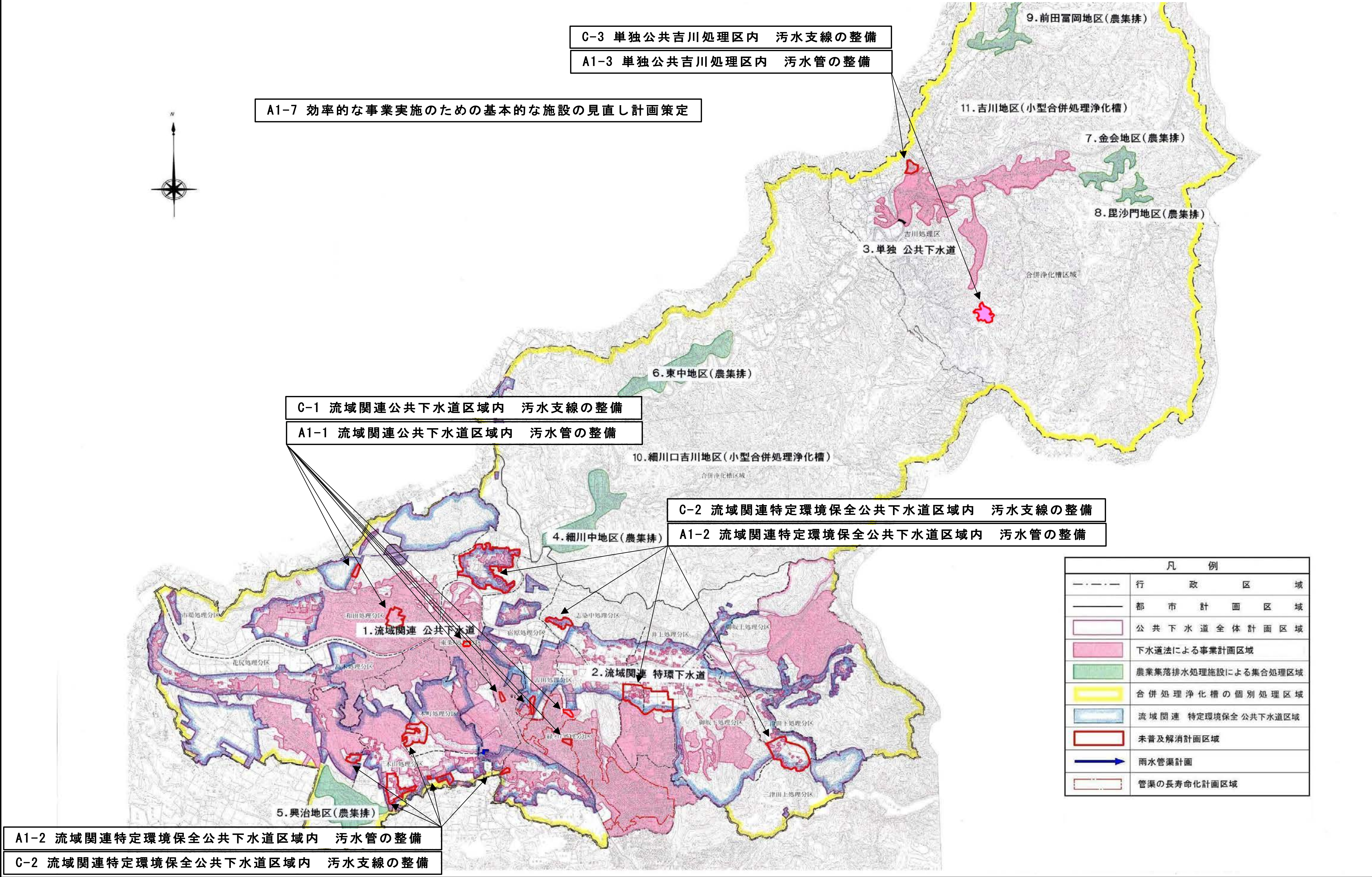
C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
C-1	下水道	一般	三木市	直接		汚水新設	流域関連公共下水道区域内　汚水支線の整備	φ=200mm他 L=180m	三木市		━				7	
C-2	下水道	一般	三木市	直接		汚水新設	流域関連特定環境保全公共下水道区域内　汚水支線の整備	φ=200mm他 L=3,940m	三木市	━	━	━	━		183	
C-3	下水道	一般	三木市	直接		汚水新設	単独公共吉川処理区内　汚水支線の整備	φ=150mm他 L=30m	三木市		━	━			2	
合計															192	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	基幹事業（A1-1）である幹線と接続した支線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。	
C-2	基幹事業（A1-2）である幹線と接続した支線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。	
C-3	基幹事業（A1-3）である幹線と接続した支線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。	

A’	422 百万円	B’	0 百万円	C’	22 百万円	効果促進事業費の割合 (C+C’)／((A+A’)＋(B+B’)＋(C+C’))	15.4%

計画の名称	快適な生活と安全な暮らしを支える下水道の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	兵庫県　三木市



社会資本整備総合交付金チェックシート

（水の安全・安心基盤整備（下水道関係））

計画の名称：快適な生活と安全な暮らしを支える下水道の整備　　　事業主体名：三　木　市

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1）上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
2）関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
Ⅱ．整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
2）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1）事業実施に向けた機運がある。	○
2）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○